

第430回
株式会社テレビ新潟放送網
放送番組審議会

1 開催日時 2026年7月27日(月)

2 開催場所 テレビ新潟本社

3 委員総数 8人 出席委員 8人

出席委員

小原 清文 委員長 迫 一成 委員

小山 厚子 委員 浜田 泰宏 委員

松山 悦子 委員 満留 大介 委員

書面での出席

本宮 宏美 委員 杉原 名穂子 委員

会社側出席者

代表取締役社長 正力 源一郎

副社長・コンテンツ本部長 小松 良徳

コンテンツ戦略局長兼番組審議会事務局長 中川 幹子

報道制作局長 竹野 和治

報道制作局次長 鈴木 英門

報道制作局次長・番組プロデューサー 須山 司

事務局 田中 泰輔 坂上 寿史

4 議 題

1) 番組合評

「石田健×ニイガタ老舗 ポテンシャル」

2026年6月28日（日） 16：50～17：20

2) 会社報告

- ① 6月の視聴者の意見 （報告：番組審議会事務局）
- ② 講じた措置、議事概要の公表 （報告：番組審議会事務局）
- ③ 訂正放送、取り消し放送の有無 （報告：番組審議会事務局）

3) その他

5 審議の概要

会社側からは「新潟の老舗企業の技術や経験を深掘りし、新潟の底力を伝えることをテーマとして番組がスタート、今回で3回目の放送だった」、「石田健さんにナビゲートしてもらいながら、新潟の産業史のひとつを紐解くような構成にした」、「機械の基本的な知識を学ぶことや、ニイガタマシンテクノの過去を知ることから番組の制作がスタートした」という趣旨の説明があった。

（委員の意見）

- マザーマシンやマシンングセンタなど、機械の分野はまったく知識がないのでとても難しく感じた。もっと幅広い世代に番組をみてもらう

よう予備知識が必要だと思った。

- 情報量が多かったので、30分番組であればもう少しどこかにクローズアップした構成のほうが分かりやすいと感じた。
- 産業史を紐解く部分に重きが置かれ、企業のポテンシャルについての部分が足りなかったような気がした。もっと熱いコメントを取材できていれば非常に見ごたえがあった。
- 番組冒頭の「導入パート」は尺的にもっと短めでもいいと感じた。
- 経済ジャンルの番組なので、データや指標がもう少しあると、印象に残るのでは？
- そもそも20年前の設計図、40年前の機械が動いていること自体が会社の真の強みなのではないか？今でも稼働しているのは非常に高いメンテナンス力があると思う。
- 映像的に大きな工場の画を見ることができて圧倒された。長い間の積み重ねによるものだと感じることもできた。
- 今回も若い従業員を取材していて非常によかった。石田健さんのインタビューによって若者の声を聞きだせるのは、この番組のいいところだと思う。
- 番組冒頭の「影の主演」のスーパーは違和感を感じた。どんな人も機械も部品も、主演は主演だと思った。
- OBの方の取材では、言いにくいと思われることについても真摯に語られていて、当時の従業員の複雑な思いを理解できた。取材する番組、テレビ局の信頼度を感じた。

6 会社側の報告

1) 放送番組に関して申し出のあった意見の概要

6月……217件

2) 訂正放送、取り消し放送の実施状況

前回審議会の開催日(2026年6月15日)から、
昨日(2026年7月26日)まで総務省に届け出た
訂正放送、取り消し放送はありませんでした。

7 審議機関の答申または意見(前回審議会)に対してとった措置

1) 前回第429回審議会では、

「ドキュメント新潟 6年3組のヨコ 拉致被害者と呼ばれて」
について審議を行い、委員の意見は議事概要にて記者、制作
スタッフ社内に周知しました。

2) 番組審議会議事録を全社員、スタッフに共有しました。

8 今回の第430回放送番組審議会の公表

1) テレビ新潟本社、長岡支社、上越支局の県内事業所に 議事概要の書面を準備します。

2) 当社のニュースで審議会の概要を放送します。

3) T e N Yホームページに議事概要を掲載します。

9 参考事項(委員への配布資料)

- ・第429回番組審議会議事録
- ・6月の視聴者からの意見、問合せ等の集計表
- ・BPO報告(NO. 290)
- ・T e N Y番組種別報告

以上